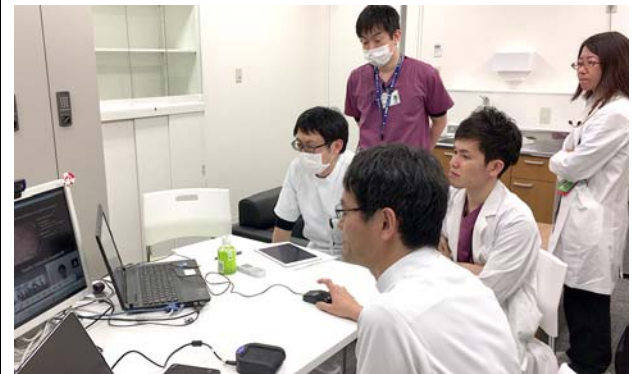
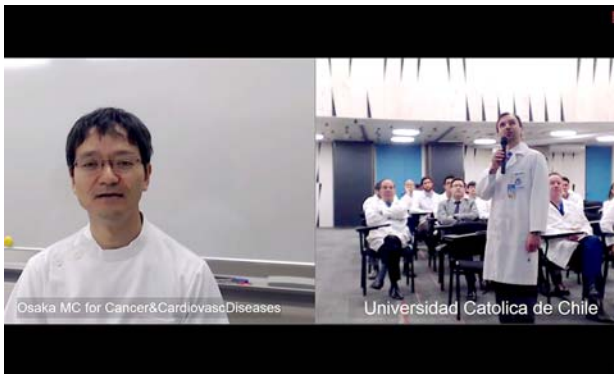


【イベント名】
大阪国際がんセンターからチリへの講演

【期日】 2017.04.11

【会場】
大阪国際がんセンター（日本）、
チリ・カトリック大学（チリ）

【概要】
チリの医師が早期胃がん診断を向上させるためには、内視鏡の前処置と胃粘膜全体を観る方法を学ぶことが重要である。Dr. 上堂は上部消化管内視鏡検査の質に関する非常に優れた講演を行った。彼は我々に早期胃がんを見落とさないためのコツを教示した。遠隔医療は、我々の国から遠く離れたところにいる専門家から学ぶことができる、非常に貴重な手段である。

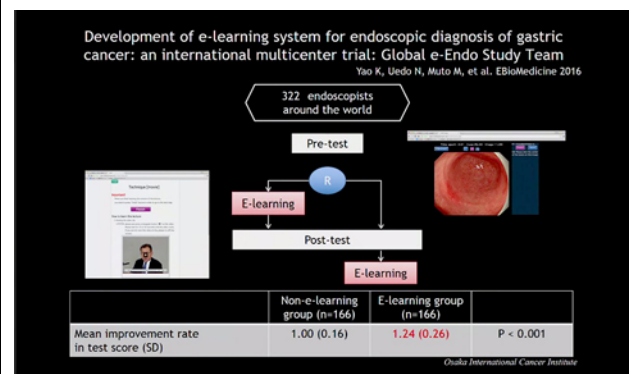
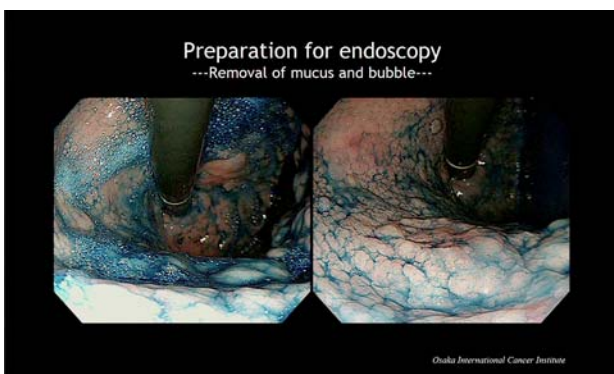


モニターに表示される接続施設。

大阪国際がんセンターの様子。

撮影場所：九州大学病院

撮影場所：大阪国際がんセンター



提示された内視鏡画像。

提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院

撮影場所：九州大学病院



チリ・カトリック大学の様子。

コメントする参加者（中央）。

撮影場所：チリ・カトリック大学

撮影場所：チリ・カトリック大学